

レスピトレース用インターフェース Respitrace Interface

【警告】

- ① ペースメーカーを着用している方はレスピトレースを使用しない事。
- ② レスピバンドとケーブルの着脱は、コネクタを押さえ慎重に行う事。
- ③ レスピバンド接続コネクタを舐めたり、濡れた手で触れる事を禁止する。
- ④ 測定は測定者に適合したレスピバンドを選択する事。長時間の測定に於いては特に注意する事。
- ⑤ 長時間使用しない場合には乾電池を抜いた状態で保管する事。

【禁忌・禁止】

- ① 水中及び入浴中の使用を禁止する。
- ② 磁界や電界の強い環境での使用を禁止する。
- ③ レスピトレース及びインターフェースを分解、改造することを禁止する。

【形状・構造及び原理】

1. 構造・構成

1) 製品名称

本製品の名称は、レスピトレース用インターフェース（ポータブルレスピトレース）である。

2) 構成

レスピトレース用インターフェース本体及びレスピバンドにより構成される。本体は発信器回路及び復調弁別回路より構成される。レスピバンドは発信周波数変調に使用される。

2. 動作原理

発信器から発信器のコイル部分であるレスピバンドへ300KHz搬送波を供給します。発信器からの出力信号（レスピバンドの伸縮によるインダクタンス変化によって変化した周波数変調信号であり最大20KHzの変調が可能）をPLL方式による復調器で呼吸運動成分を弁別し腹部と胸部のそれぞれの電圧を増幅し出力コネクタへ出力します。

レスピバンド：

発信器のコイル部であってインダクタンスの変化が周波数の変化としてレスピトレースへ伝えられます。

本体：

300KHz搬送波で最大20KHzの変調された信号を、PLL復調回路で呼吸運動成分のみを取り出します。腹部及び胸部それぞれの信号は増幅され、コネクタへ出力されます。

【使用目的、効能効果】

二枚一組のレスピバンドを胸部及び腹部に巻くだけで簡単に呼吸量を検出でき、拘束性が低いため活動を阻害する事無く、長時間に亘り測定が可能です。睡眠時無呼吸症候群の発見等に使用できます。測定時に校正を行うことにより換気量の絶対値も正確に測定する事が出来るので、運動時の呼吸量測定等にも利用可能です。

【品目仕様等】

仕様 本体電源
市販006P型乾電池 定格電圧 DC9V

【操作方法又は使用方法等】

本体に入力ケーブル及び出力ケーブルを接続します。レスピバンドを胸部と腹部に巻きつけ入力ケーブル先端を差し込みます。

【使用上の注意】

- ① 入力・出力ケーブルのコネクタを抜く際は、回さずに、コネクタを左右から挟み真直ぐに引張って抜いて下さい。
- ② ローバッテリー警報が発生していないことを確認して下さい。

【貯蔵・保管方法及び使用期間】

直射日光や紫外線が当たる場所は避け、常温・常湿の室内で、清潔な状態で保管して下さい。

【保守・点検に係る事項】

- ① レスピバンドに断線等が無い事を確認して下さい。

【包装】

市販のシールパック又はエアパッキンに1台ずつ入れて下さい。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

販売元 **サニタ商事株式会社**
東京都新宿区若葉1-22

製造元 **米国A.M.I社**
731 Saw Mill River Road,
Ardsley, NY 10502-0609